

contents

第15回性科学セミナー報告……………	1
性教育の歴史を尋ねる②……………	7
もっと知りたい男子の性④……………	8

今月のブックガイド……………	10
JASEインフォメーション……………	11

◆第15 回性科学セミナー報告

技術の進歩は私たちの性をどう変えたか

第15回性科学セミナーが10月11日(土曜日)午後1時より岡山大学医学部鹿田キャンパスのJunko Fukutake Hallで、「技術の進歩は私たちの性をどう変えたか」をテーマに開催された。各専門分野から最新の性科学・性教育の情報が報告された。セミナー開催前の午前10時から、一般公開企画として映画「うまれる」の上映が、またセミナー修了後の午後5時30分から中村中さんのコンサート「音楽とトークの夕べ」が行われた。

開会に当たり、日本性科学連合の大川玲子会長から性科学連合の結成の経緯や性科学セミナーの歴史を含めた開会の挨拶とテーマの趣旨説明があり、引き続いて7名の講師が、金子由美子氏(公立中学校養護教諭・『季刊セクシュアリティ』編集長)、高波真佐治氏(東邦大学泌尿器科学講座教授)両座長のもとで、それぞれの専門分野の最新技術が性をどう変えたかを報告した。

以下、その概要を紹介する。

技術の進歩は私たちの性をこう変えた ～第2回ジェクス・ジャパン・セックス サーベイの結果から～

一般社団法人日本家族計画協会理事長・家族計画研究センター所長の北村邦夫氏は、2013年12月に行った第2回ジェクス・ジャパン・セックスサーベ



イの結果から、「マスターベーション」を主なテーマに講演をされた。

北村氏は、レジメの冒頭に次のように記している。

第15回性科学セミナーのメインテーマ「技術の進歩は私たちの性をどう変えたか」を真面目に受け止め、演者自身のできる講演内容を吟味した。第2

回ジェクス・ジャパン・セックスサーベイの結果を報告しようと考えていた演者としては、この調査の中に「技術の進歩」を感じさせる話題はないものかと思案することとなった。行き着いた先が「マスターベーションの時に主としてつかう『オカズ』とは？」だった。



北村氏の報告によると、マスターベーションおよびオカズについての調査をまとめると次のような結果になる。

「これまでに自分の性器を手や器具で刺激して快感を求める、マスターベーション（自慰）をしたことがあるか」を聞くと、男性では95.6%、女性では57.5%が「ある」と回答。さらに「この1か月間にマスターベーション（自慰）をしたか」では、男性の73.5%、女性の43.1%が「ある」と回答しているという。20代男性93.9%、30代では88.6%と、若年ほど経験率が高い。しかし、50代男性でも69.2%、60代で45.0%がマスターベーションを行っているという。

女性も男性同様若年ほど経験率が高くなっているが、50代女性でも23.3%、60代女性も13.8%であったという。

「この1か月間の頻度」を聞くと、男性では「毎日」が7.5%、「週に1回以上」が74.2%、女性でも54.3%であった。「毎日」の回答は、20代、30代の男性では14.7%、13.3%と高い。

マスターベーション（自慰）の際、自分自身のために使用するもの（オカズ）は何かを聞いた結果が上の表である。男性ではPCがトップの59.4%で全年齢層で高率であった。次いで「テレビ（DVDを含む）」18.8%。30代、40代で20%を超えている。20代では「スマホ」が22.0%と高く、50代、60代では「想像のみ」の割合が他の年齢層に比べて高い。女性では「想像のみ」が48.5%と高率で、特に40代65.6%、50代71.2%、60代75.7%であった。「スマホ」は20代で47.1%、30代20.4%と目立っている。

なお、第2回ジェクス・ジャパン・セックスサーベイの調査内容および結果については、本紙『現代

マスターベーションの時に主としてつかう「オカズ」とは？

	合計	（テレビ DVDを含む）	PC	スマホ	雑誌	漫画	想像のみ	その他
男性	1,765	18.8	59.4	8.3	1.2	1.1	10.8	0.4
20代	293	5.7	63.3	22.0	0.2	2.9	5.9	0.0
30代	398	20.2	59.7	10.7	0.3	0.7	7.4	1.0
40代	528	24.7	58.2	6.1	0.9	1.1	8.4	0.6
50代	297	19.1	57.3	2.4	1.9	0.6	18.5	0.2
60代	249	19.1	58.2	0.5	4.0	0.0	17.9	0.3
女性	623	4.1	15.2	23.9	0.3	4.1	48.5	3.9
20代	206	1.6	9.4	47.1	0.0	5.5	31.8	4.6
30代	199	3.8	21.6	20.4	0.5	5.6	43.7	4.4
40代	135	7.8	13.6	7.8	0.0	1.8	65.6	3.4
50代	54	5.0	16.3	2.3	2.0	1.7	71.2	1.5
60代	30	5.0	17.3	0.0	0.0	0.0	75.7	2.0

性教育研究ジャーナル』No.39（2014年6月号）に、北村氏によりその概要が報告されているので参照されたい。

若者の性調査にみる青少年の性行動の分極化：女子の自慰に着目して

関西大学社会学部准教授の守如子氏は、日本性教育協会が行ってきた「青少年の性行動全国調査」の第1回から第7回までの調査データをもとに、マスターベーションがどのように変化してきたかを報告された。



既に本紙のNo.28（2013年7月号）でも報告されているが、青少年の性の二極化現象が確認されている。守氏は、この現象を女子のマスターベーションに焦点を当てて報告された。

第7回調査によれば、男子の自慰経験率はほぼ100%であるが、女子の経験率は、近年総じて増加傾向にあるものの女子大学生でも50%を超えていないという。

性交経験と自慰経験に着目して、高校生・大学生女子の分化のあり方を分析した結果、「性交経験あ



り・自慰経験あり」「性交経験あり・自慰経験なし」「性交経験なし・自慰経験あり」「性交経験なし・自慰経験なし」の4つのグループに分け、それぞれのグループの性に対する向き合い方を分析すると、男性の場合と異なる様相を示すことが明らかになったという。

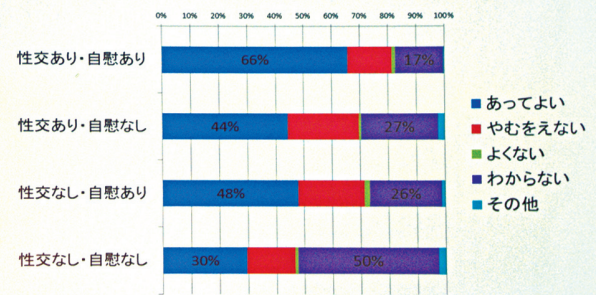
「性交あり・自慰あり」群は、多様な性情報源をもち、性イメージも自己満足度も4グループのうちで最も肯定的で性に関する知識も多いグループであるという。

「性交あり・自慰なし」群は、性情報源が友人や付き合っている人に偏っており、学校の勉強への親和性は比較的低く、「性交あり・自慰あり」群に比べて性に関する知識が少なく純粋な恋愛志向が強く、性のダブル・スタンダードに最も巻き込まれているという特徴もみられるという。

「男性は女性をリードすべき」や「男性のほうが性欲が強い」を肯定するこのグループの異性愛の女子の中には、純粋な恋愛志向や「精液がたまりすぎると体に影響がある」という誤解から、性イメージが「性交あり・自慰あり」群に比べて肯定的でないのはそのような背景も想像され、自分で強く望んでいたわけではなかった行為へと流された人もいたのではないかと推測されるという。

他方、「性交なし・自慰あり」群は、インターネットやマンガなどのメディアも重要な情報源としており、メディア利用度が高いだけでなく、学校親和的で、勉強時間も長く、性のイメージは比較的肯定的で、「男性のほうが性欲が強い」を否定する率は高いものの、なかには自慰をしていることそのものを悩んでいる人もいるが、性交経験がないのにもかかわらず、性知識はそれなりに身につけているグル

図12 自慰についての考え
(高校・大学女子)



ープであるという。

「性交なし・自慰なし」群は、性知識が最も少なく、性イメージが最もネガティブで、性の情報源はとて少なく、友人と学校にほぼ限られた状態であるという。

守氏は、最後に、次のように述べ、性教育の重要性を強調し締めくくられた。

若者女性向けの性表現が社会的に批判されることがしばしばあるが、女子内分化の様相をみると、自慰をし、自らの関心に基づいて性表現にアクセスすることは、女子にとってむしろプラスの影響をもたらしていることがわかる。自慰あり女子は、性知識も多く、性に対するイメージも肯定的なものであった。性的欲望を主体的に自覚している彼女たちよりも、問題は自慰なし女子の情報不足や情報の偏りにあるのではないか。

性知識が最も少ない性交なし・自慰なし群についていうならば、学校教育の重要性を改めて強調しておきたい。このグループの重要な性の情報源の一つが学校であった。彼女たちのためにこそ、学校教育において、ネガティブな視点に偏らない、正確な性知識が提供される必要があることを改めて強調しておきたい。また、性交あり・自慰なし群についていうならば、性知識のみならず、男女の性のダブル・スタンダードを緩和するような教育・情報が提供される必要があるだろう。

また、女子については自慰について学校教育を受けたことがある人の割合が低いことももう一つの問題と言える。自慰についての誤解や偏見をなくすことは、女子のセクシュアリティにとって総合的にプラスに作用するであろうことも強調しておきたい。

性感染症アウトブレイクの発見と対応における技術の進歩

岡山大学医療教育統合開発センター GIM 部門教授の中津克己氏は、性感染症の集団発生（アウトブレイク）の発見と対応における技術の進歩をテーマに講演を行った。



近年増加しつつある梅毒および性行為感染による細菌性赤痢などのアウトブレイクの発見とその対応のあり方について、具体的に報告された。

ここでは梅毒についてピックアップして紹介する。

国立感染症研究所感染症疫学センターによれば、梅毒は多くの先進諸国同様、日本でも減少傾向にあったため、昔の病気と考えられていた。しかし近年、欧米では男性と性交をする男性（MSM）を中心に感染が広がっていることが報告されているという。

日本でも増えており、2013 年の梅毒総報告数は 1,226 例であり、前年 2012 年の総報告数 875 例に対して 1.4 倍に増加している。性別では男性が 989 例（80.7%）であった。

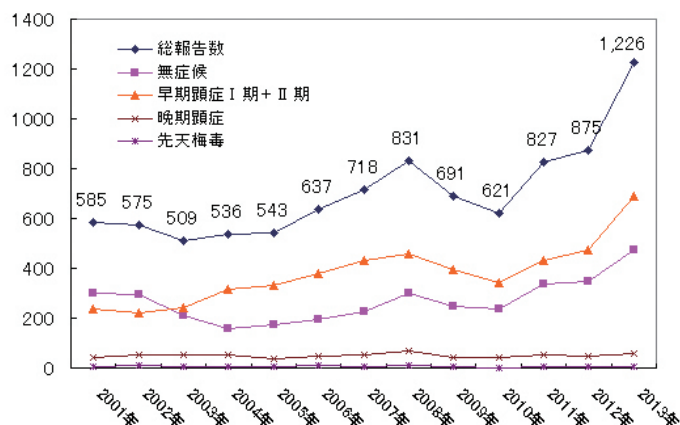
症状は無症候が 473 例（38.6%）、早期顕症Ⅰ期が 220 例（17.9%）、早期顕症Ⅱ期が 469 例（38.3%）、晚期顕症が 60 例（4.9%）、先天梅毒が 4 例（0.3%）で、2012 年と比べると男女ともに無症候と早期顕症Ⅱ期の増加が目立つという。

感染経路は、男性では 861 例（87.1%）が性的接触と報告されており、同性間または異性／同性間性的接触が 443 例（51.5%）と過半数を占め、そのうち同性間性的接触が 432 例（50.2%）、異性／同性間性的接触 11 例（1.3%）であった。女性は 160 例（67.5%）が性的接触と報告されており、異性間性的接触が 141 例（88.1%）と多くを占めているという。

感染経路については、東京都の報告でも同じような傾向が見られるという。

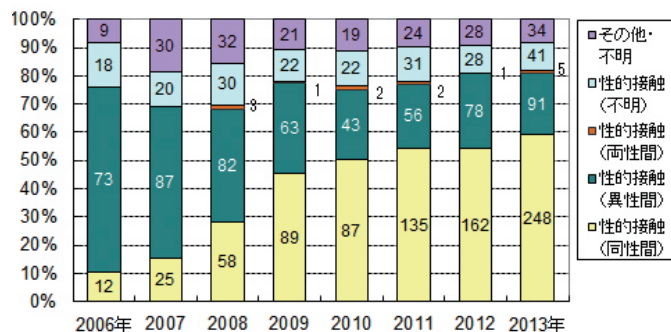
中津氏は、アウトブレイクの対応としてパートナー健診の重要性を強調し、国内外の先進的な事例を紹介された。

年別病態別報告数（国立感染症研究所感染症疫学センター）



東京都の推定感染経路の推移（東京都感染症情報センター）

推定感染原因別患者報告数推移（2006年～2013年 計1812人）



電話相談及び思春期教育を実施した立場から

子どもの虐待防止活動や思春期教育に取り組み、性の健康医学財団の性感染症電話相談員などを務めてこられたはせ川助産院院長の長谷川喜久美氏は、「電話相談及び思春期教育を実施した立場から」というテーマで、主



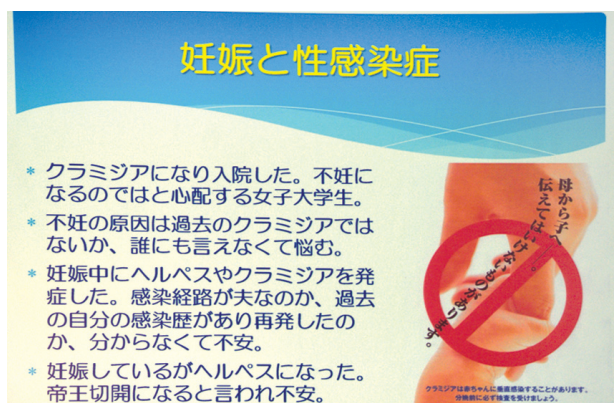
に電話相談での相談内容や相談者の悩みについて、また性感染症予防を中心にした思春期教育の有用性と現状について講演をされた。

電話相談の主な相談内容については、以下のよう内容が多いという。

症状がある場合：パートナーなどへの感染不安。

無症状の場合：風俗店にいったことによる感染不安、過去の性行動や感染歴での不安。

性感染症に関する知識や検査法、治療についての



質問と相談。

年代による相談内容では、10代～20代では、現在の性行動による不安が多く、高齢者では男性より女性のほうが多く、過去からの感染不安を長期にわたり持ち続けている場合が多いという。また、再感染や再発する恐れや不安は、リピーターに多いという。

LINE、メールで繋がる、恋愛、デートDV

デートDV防止プロジェクト・おかやまの副代表で、患者の30%が10代であるという産婦人科クリニックで、診療しながら子どもたちからの携帯メール相談を受けているウィメンズクリニック・かみむら院長の上村



茂仁氏は、LINEやSNSでの恋愛、デートDVをテーマに具体例を示しながら講演された。

上村氏は、実際に子どもたちとのやり取りの具体例を示し、次のようにまとめている。

- コミュニケーションツールとしてLINEは現在最も多く使用されており、友人やパートナーへの連絡はほとんどこれが主体である。
- LINEはグループをつくることができるので、一斉連絡がとりやすく、寂しさを紛らわせるため、または連帯感をもつためには必要不可欠である。また、個人でチャット、メール、写真のやり取りができるため、友人間やパートナー間で一番使用されている。その一方水面下での束縛、洗脳、いじめ、詐欺、出会い等にも頻繁に利用される。
- デートDVとは、たくさんの約束をさせられるこ

とによって束縛され、その内容を監視されることであり、そのツールとして最もLINEが使われている。このツールによって家族や友人に気づかれることなくパートナーに束縛されていることが非常に多い、また写真を送る機能が付加されていることにより、より一層の束縛性と危険性をもっている。

- LINEやその他のSNSに関しては、スマートフォンを持たせる前に使い方を具体的に指導する。また使うようになったら、大人も一緒にしっかりLINEやSNSを使って練習することが必要である。そのようなカリキュラムを学校や家庭を中心として実行していかないと予防は不可能である、と述べられた。

性機能領域における技術の進歩

川崎医科大学泌尿器科学教室教授で、川崎医科大学附属病院副院長の永井敦氏は、新薬の登場や機器の発達による勃起障害治療の選択肢の広がり



と画像診断の進化と治療への応用について講演された。

性機能領域における画像診断技術の進歩については、写真および動画を示しながら、以下の5つの事例を報告された。

① MRIによる勃起現象の動的解析

超高速MRIを用いて、勃起の開始から完成まで、そして勃起の維持状態から消退までを動的に撮像することが現実化している。これにより生理的な勃起における陰茎内の形態学的変化と血行動態を解説することが可能となったという。

② 陰茎海綿体の3D-CTによる血管構築の解析

陰茎血管系の詳細な立体画像の描出が可能となった。

③ 射精のエコー画像

射精を超音波カラードプラ法で動的に解析することにより、ヒト射精のメカニズムが明らかになり、射精障害の診断、病態の解析および治療評価が可能

になった。

④尿道膀胱鏡による射精の観察

ヒト射精の神経伝達経路の確認や手術時の神経温存範囲の評価が可能になった。

⑤性的刺激と脳の働き

PET スキャンを用いた検討で、性的刺激時の脳の働きが解明された。

ED 治療の進歩については、2014 年 5 月に現在使用可能である 3 種類の ED 治療薬のうち、シルデナフィルのジェネリック医薬品が発売されるなど、多くの ED 患者にとって明るいニュースがある一方、問題も多いという。

ED 偽造医薬品四社合同調査（2008 年 8 月～2009 年 4 月）によると、ネット購入の PED 5 阻害薬の 55.4% が偽造品であったという。偽造品の製造現場の写真などを紹介しながら継続的な啓発活動の必要性を強調された。

生殖技術の進歩とセックスカウンセリング

性と健康を考える女性専門家の会会長で、本紙に「もっと知りたい女子の性」を連載中の神奈川県立汐見台病院産科副科長の早乙女智子氏は、生殖技術の進歩とセックスカウンセリングをテーマに講演された。



講演内容は、婦人科医の立場からのセックスカウンセリングが中心であった。

カウンセリングに来られる方の 50% 近くが性的マイノリティの相談であるという。また、「子どもが欲しいんです。子どもが欲しいだけなのに、どうしてセックスしなければいけないのですか」といった質問があり、子どもが欲しいのか、性交ができないのが悩みなのか、分かり難くなっている受診者もいるという。

生殖医療技術が進んだこともあるのか、日常的にセックスするグループと非日常としてセックスするグループに分けられ、カウンセリングの内容も必然的に、妊娠を希望しない場合のカウンセリングと妊



娠を希望する場合のカウンセリングに分けられるという。

早乙女氏は、性と生殖の問題を、

- ①性欲は生殖と必ずしもリンクしない。
- ②生殖を望むときは性欲があることが望ましい。
- ③カップルで常に性欲が一致するのは幻想。
- ④性欲を満たすのはまず個人の問題。
- ⑤生殖技術だけでは性の問題は解決しない。
- ⑥生殖の問題が性を複雑にする。

と整理され、「食欲、睡眠欲、性欲は、もともと個人の欲求」とであると締めくくられた。



午後 4 時 25 分から、全体ディスカッションが行われた。予定の時間をオーバーするほどの活発な質疑応答がかわされ盛会のうちに終了した。

引き続いて、一般公開企画である中村中さんのコンサート「音楽とトークの夕べ」は、多数の岡山市民の参加もあり、大盛況であった。

☆

☆

性科学セミナーは、日本性教育協会、日本家族計画協会、日本思春期学会、日本性機能学会、日本性感性症学会、日本性科学会、性の健康医学財団の 7 団体で構成されている日本性科学連合の主催である。

性教育の歴史を尋ねる

戦後・純潔教育編

茂木輝順

第20回 北海道純潔教育委員会

もてぎ てるのり
女子栄養大学大学院栄養学
研究科保健学専攻博士後期
課程修了、博士（保健学）

前回も引用した『日本における教育改革の進展』（文部省が第二次米国教育使節団のために作成した報告書）には、文部省の純潔教育分科審議会が「各都道府県の純潔教育委員会、学校及び社会教育関係団体の純潔教育運動に指導助言を与え、又資料を提供している」⁽¹⁾という記述があります。このころ、すべての都道府県ではないのですが、いくつかの地域で純潔教育委員会が結成されていたようです。「地方でもたとえば北海道に北海道純潔教育委員会があり、教育委員会の諮問機関として活動するなど活発な動きを見せている」⁽²⁾との説明のとおり、おそらく地方の純潔教育委員会の中で最も活動的だったのが、今回述べる北海道純潔教育委員会です。

1948年10月8日の『北海道新聞』が次のように報じています。「道庁ではいよいよ道純潔教育委員会を作って正しい性教育に本腰を入れることになった、この委員会は全道社会教育、婦人、PTA会、保健婦の代表約三十人で作られ主として小、中、高校生徒および一般青年男女を対象として行われるものである」⁽³⁾。そして、「男女間の性道德を確立し、社会の純化をはかるために、必要な純潔教育に関する具体的方策を調査審議し、又進んでこれに関し建議することを目的とする」北海道純潔教育委員会の発足会は12月24日に行われています⁽⁴⁾。委員長は札幌鉄道病院長で歌人でもあった山下秀之助とみられます⁽⁵⁾。その後、北海道純潔教育委員会は次の活動に携わっています。

①「結婚と性教育展覧会」の開催

1949年4月17日の『北海道新聞』によると、北海道では、北海道教育委員会社会教育部が主催して4月後半に「純潔教育週間」が設定され、学生討論会や講演会などのイベントが企画されています⁽⁶⁾。その一つとして4月15日から24日まで、札幌市の丸井今井百貨店4階において開催されたのが、北海道科学普及協会・北海道教育委員会・北海道純潔教育委員会・札幌市役所主催の「結婚と性教育展覧会」です。人間の生殖や性病などについての図表・標本・模型の展示、性

知識普及を目的とする映画の上映、結婚や受胎調節などについての相談所や簡易血液型判定所の開設という内容で⁽⁷⁾、この展覧会は札幌での開催の後、小樽→三笠→旭川→上砂川→歌志内→岩内→北見→網走→釧路→帯広→名寄→稚内→滝川→留萌→岩見沢→室蘭→苫小牧→函館と北海道の各地を巡回したようです⁽⁸⁾。

②性教育のモデル授業の実施

1949年10月には、北海道純潔教育委員会と北海道教育委員会青少年婦人係の共催で「性教育のモデル授業」が行われています。札幌では、北海道地方民事部のデモレーや北海道大学理学部教授の牧野佐二郎らが講師となって、高校生や高校の教員などを対象に性教育についての講演が行われたようです。この「性教育のモデル授業」は、函館・札幌・旭川・帯広の道内四市で開催されています⁽⁹⁾。

③書籍の出版

北海道純潔教育委員会と北海道科学普及協会の共編で1950年2月に『ぶどうの葉かげ』という書籍が出版されています。残念ながら、入手できていないため、今回は内容を紹介できません。また、現時点までの私の調査では、その後、北海道純潔教育委員会がどうなったのかを明らかにすることができていません。

【注】

- (1) 文部省編『日本における教育改革の進展—1950年8月文部省報告書』1950年p.92 傍線は引用者による。
- (2) 金田智成・相引茂『社会教育の理論と方法技術』斯文書院1951年p.225
- (3) 『北海道新聞』1948年10月8日p.2
- (4) 『北海青年』4巻1号1949年1月p.19 ここに記載されている「目的」は、文部省の純潔教育委員会規程の第一条と同一です。
- (5) 山下秀之助「純潔教育の立場から」『グッド・ヘルス』3巻2号グッド・ヘルス協会1950年p.15の肩書きより。そのため、当初から山下が委員長ではなかった可能性もあります。
- (6) 『北海道新聞』1949年4月17日p.4
- (7) 『新生科学』23号北海道科学普及協会1949年7月p.7、及び『北海道新聞』1949年4月17日p.4
- (8) 『新生科学』23号北海道科学普及協会1949年7月p.7
- (9) 『北海道新聞』1949年9月27日p.2、及び北海道立教育研究所編『北海道教育史 戦後編四』1974年p.80

「もっと知りたい」と思っている人はまだいいのですが、最近、医者こそ「もっと知って欲しい男子の性」と思われることが少なくありません。その最たるものが「包茎」です。実際、医学書にも、泌尿器科医が読む専門雑誌にも納得できる包茎の解説が見当たりません。本稿をきっかけに多くの方に議論を深めていただき、包茎をどうとらえ、どう扱うべきかの結論を出す時期に来ているように思います。

* *

自分は「カントン」ですと相談してくる男たち

そもそも包茎の定義自体が曖昧です。そのうえ、とんでもない美容外科の広告を信じ込み、自分で「カントン包茎」と診断して相談のメールを送ってくる人が後を絶ちません。

そもそも陰茎はどのような状態になっているのかを理解しましょう。生まれたての男子のおちんちは勃起していない状態だと98.7%で亀頭部が完全に包皮に覆われた状態です。この状態になる理由は包皮口が狭く亀頭部が全く見えないか、包皮が長く亀頭部が完全に覆われるためです（図1）。

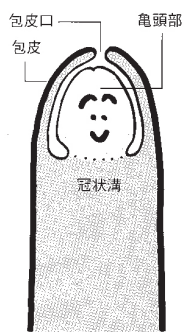


図1 おちんちんの構造

* *

どう呼びますか

非勃起時の図2のおちんちんの状態を皆さんはどのように呼びますか？

正解は、①包茎、②亀頭部が少し出たペニス、③む

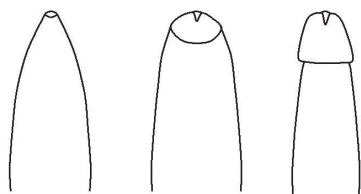


図2 それぞれの呼び名は？

けたペニス、ですが、①真性包茎、②仮性包茎、③正常、と答える方も少なくないはずです。実は「真性包茎」や「仮性包茎」の定義について泌尿器科学会でも正式な議論はされていません。おそらく泌尿器科医の誰も異論がない分類は以下の状態ものです。

包茎＝包皮が亀頭部を覆っている

真性包茎＝包皮をずらしても亀頭部が全く見えない

仮性包茎＝非勃起時は亀頭部が包皮に覆われている

包皮を手でずらすと亀頭部がすべて見える

嵌頓包茎＝包皮をむいた結果、包皮口に締め付けられて包皮がむくんだ状態（図3）。

包皮口が狭いまま包皮をむくと翻転した包皮内のリンパ液の流れが滞り、包皮がむくみます。この嵌頓した状態を放置すると血流が悪くなり、最悪の場合、亀頭部や包皮が壊死に陥る可能性が



図3 嵌頓包茎

ある、大変危険な状態です。しかし美容外科等の宣伝ではそのあたりを曖昧に記述しているため正確に理解されていない場合が少なくありません。

* *

真性包茎、仮性包茎は診療報酬病名

ぜひ周りにいる泌尿器科医に「真性包茎」「仮性包茎」について説明してもらってください。おそらく十人十色の答えが返ってくるはずです。にも関わらず、これらの言葉が使われ続ける理由は、手術をする場合、真性包茎は保険診療でできますが仮性包茎は自由診療になるからです。

ただし、診療報酬説明書の泌尿器科処置の中にある「嵌頓包茎整復法（陰茎絞扼等）」には「小児仮性包茎における包皮亀頭癒着に対する用手法等による剥離術は、嵌頓包茎整復法に準じて算定する」と記載されているように「小児仮性包茎」は診療報酬の対象となる

病名です。では小児期の包茎をどう扱うべきかと小児科医や泌尿器科医に聞くと、おそらく「亀頭包皮炎のようなことを起こさなければ放置し、起こすようなら剥離する」という答えが多いでしょう。

小児科医は病気の予防のためのワクチン接種には熱心ですが、亀頭包皮炎を予防しようという発想を持った小児科医はほとんどいません。また、泌尿器科医の間でも包茎は主たる関心事ではないため、真剣な議論が重ねられていないのが実情です。

※ ※

むいて洗うだけでできる予防

亀頭包皮炎が起こる理由は包皮と亀頭部の間に細菌が入り込み、かつその細菌を洗い流さないため細菌が繁殖するからです。細菌が包皮内に入っても、むいて洗って包皮内を清潔にしておけば亀頭包皮炎は予防できます。仮性包茎の状態になっていても、毎日むいて洗わなければ亀頭包皮炎を起こすことは容易に想像できます。

また陰茎がんは真性包茎の人しかならないのは泌尿器科医の常識です。陰茎がんの原因の一つがHPV（ヒトパピローマウイルス）です。なぜ仮性包茎やいわゆるむけちに陰茎がんが起らないかの理屈は簡単です。ウイルスが付着しても、洗ったり、こすったりしているだけで除去できるからです。

※ ※

HPVはセックスでうつる

今回、「包茎」を取り上げようと思ったのは、早乙女先生が「ステディーな間柄では性感染症予防は不要ではないか」と投げかけられたからでした。

HPV感染が子宮頸がんの原因ですが、子宮頸がんは性感染症ではありません。しかし、子宮頸部に感染するHPVはSTI（Sexually transmitted infection）であることはまぎれもない事実です。男はおちんちんをごしごし洗っているだけで陰茎がんを予防できますが、陰茎に付着したHPVがセックスで子宮頸部に運ばれることを忘れてはなりません。もちろんHPVはフェラチオで口腔内に感染し、口腔咽頭がんの原因にもなっており、この場合もHPVはSTIとなります。男は誰も自分のパートナーにHPVをうつしたと思っていませんが、医学が進歩すればするほど、

セックスにまつわる事実が明らかになり、どの程度リスクを受け入れるかが問われています。

子宮頸がん予防のためのワクチンが開発されていますが、口腔咽頭がん予防のためにもHPVワクチンを使うべきという意見もあります。コンドームも有効ですが、私は「ごしごし洗い」で少しでもリスクを下げることも伝えるべきだと考えています。しかし、「エビデンスがない」と叱られることが少なくありません。でも「ごしごし洗ったペニス」と「適当に洗ったペニス」のどちらがいいかと聞かれれば、答えは自ずと決まってきますよね。

※ ※

むきむき体操の注意点

おちんちんをむく包皮翻転指導の詳細は連載の最初に書きましたが、一つだけ注意をしていただきたいことがあります。包皮口が狭く、亀頭部が全く露出できなくても、皮膚は伸びますので、むき続けていれば包皮口は次第に広がります。しかし、包皮口が十分ゆるくなっていない状態で包皮口を冠状溝あたりまでむくと包皮口を戻せなくなり、嵌頓包茎の状態になることがあります。その際の戻し方をむきむき体操を始める前にぜひ知っておいてください。

何より「むける」ということは「戻せる」ということです。ただ、戻しにくいのは亀頭部が包皮口より大きいからです。すなわち亀頭部を小さくすれば戻ります。

図4右のように亀頭部を思いっきり30秒間つぶします。亀頭部には骨はありませんので、亀頭部内の血液が体の方に戻り亀頭部が小さくなった狭いところ

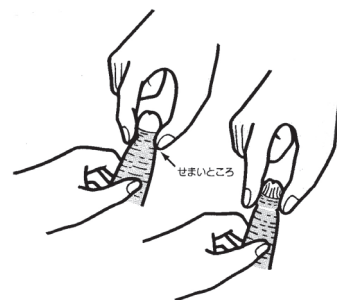


図4 包皮の戻し方

(包皮口付近)をもっ

て引っ張れば簡単に戻ります。簡単にむけるようになったら、ぜひごしごし洗うようにしたいものです。

※ ※

ところで早乙女先生、「マスターベーションでイカない」という女子の相談にはどう答えられますか。

【文献】岩室紳也：OCHINCHIN、日本家族計画協会

BOOK GUIDE

今月のブックガイド

心の痛みを封印して

「自分の体と頭脳をフルに活用」「様々なケースを推察・想定」「自分の行動を効率化・ブラッシュアップ」……こんな男性が紹介されたら“かなりデキるオトコ”の印象をもつだろう。“うちの職場にぜひ来てほしい人材”と思う人もいるかもしれない。私自身も見習いたい。そんなデキる能力をもつうえに、外見はこざっぱりとしており、さらに私生活では恋人や家庭を得ている人も多いとなれば、こんな高スペックのオトコはどこにいるのか!? と思うほど。ところが、実際にいる。性犯罪者として、いるのだという。

本書の著者が紹介するさまざまな性犯罪者の姿は、一般にイメージされがちな“性衝動のままに犯行を繰り返す”無節操なオトコ像とは異なるものだ。事実、性犯罪の多くは、捕まらずに犯罪を完遂するために、きわめて冷静で巧妙な手立てが講じられる。それは、彼らが自分の犯行を「ロールプレイングゲーム」に喩えているように、精密な頭脳プレイである。そのゲームに勝利するための意志の強さ、努力、粘り強さには、驚かされるほどだ。……なぜ、その力をほかで活かせないのか、と。

こうした性犯罪者の姿とそれにまつわる“なぜ”について、性犯罪者たちの手記や彼らの処遇に関わる職員や研究者らへのインタビューから追う本書は、性犯罪の実態や専門的知見をわかりやすく学べる入門書でもある。なぜ性犯罪を繰り返すのか、本人たちの理屈や彼らが置かれた状況をていねいに聴きながらも、彼らの言い分に巻き込まれず、冷静に彼らの考えの“歪み”を指摘していく著者の態度にも学ばせられる。しばしばわれわれは、自己中心的で非道な性犯罪をおかす人に対して極端な怒りや嫌悪感を覚え、「自分とはまったく異なる存在」「抹消するか無視するかしかない、共存しえない



性犯罪者の頭の中

鈴木伸元著
幻冬舎新書
定価 780 円＋税

もの」と考えがちである。声高に厳罰化を要求する一方で、“たかがセクハラ”と笑って見逃してしまうように。まず事実を知ることによって性犯罪の真の問題が見えるはずという著者の姿勢に、気づかされるところは少なくない。

性犯罪の被害者が、その後の人生においてどれほどの苦しみにみまわれるかを思うと、その現実とそれを引き起こした性犯罪者の言い分には、とてつもなく深い溝を感じる。性犯罪者の語る言葉は、いずれも「自分の有能性」であり「自分の苦しみ」だ。そこに、目の前にいたはずの被害者の存在はない。それこそが、リアルな『性犯罪者の頭の中』なのだろう。彼らの頭を占めているのは、つねに自分のことなのだ。人生の挫折や苦しみすら、“頭の中”での問題であり、“頭の中”で決着をつけるために、「ゲーム」にハマる。

しかし本来なら、挫折や苦しみは“心の中”の問題である。心で感じ、心で苦しみ、心を解放していくよりほかないものだ。でも、彼らはそれを避けている。まるで、傷つきや恐れ of 感情を封印するために、「体と頭脳をフルに活用」するように。だとすると、自分の感情に向き合えない彼らが、被害者の気持ちを理解するのは不可能だろう。このままでは、両者の溝が埋まることは望めない。

そう考えると、『性犯罪者の心の中』としなかった本書のタイトルは深遠だ。彼らは“心の中”を見せない。彼らが“心の中”に向き合うときこそが、性犯罪から脱する第一歩なのかもしれない。それには勇気が必要だろう。「頭脳プレイ」ではない、リアルな世界で感じる痛みは、彼らがこれまで逃げ続けてきたものなのだから。そして、彼らの“心の中”を見たときに、果たしてわれわれはそれを受けとめることができるだろうか。決して自分と「異なる存在」ではない、むしろ同じ苦しみをもつ存在として、彼らと「共存」できるだろうか。

性犯罪者に変化を求めるならば、社会も変化を必要とする。その覚悟が問われている。

(大阪大学大学院准教授 野坂祐子)

▶▶ 12月6日(土)～7日(日) ◀◀

日本性感染症学会第27回学術大会 予防教育・検査・治療の標準化

内容 会長講演「日本における性感染症の実態について」荒川創一（神戸大学大学院医学研究科）。

招請講演「口腔のHPV感染」前田初彦（愛知学院大学歯学部）
（性の健康医学財団理事長）、「性感染症としてのウイルス性肝炎」
三田英治（国立病院機構大阪医療センター）。

教育講演「梅毒のリバイバルー発生動向調査から」山岸拓也
（国立感染症研究所）、「広がる癌誘発型HPV感染、HPVに対す
る免疫応答と癌化」笹川寿之（金沢医科大学産科婦人科）ほか。

シンポジウム①「性感染症から若者を守る教育啓発の標
準化（卒後・生涯学習プログラム）」、シンポジウム②「性感
染症予防のスタンダードとは？」ほか。

会場 神戸国際会議場（神戸市中央区港島中町 6-9-1）

問い合わせ等

日本コンベンションサービス株式会社 関西支社
〒541-0042 大阪市中央区今橋 4-4-7 京阪神淀屋橋ビル 2 階
TEL 06-6221-5933 FAX 06-6221-5938
E-mail 27jssti@convention.co.jp

▶▶ 12月20日(土) 13:00～16:30 ◀◀

平成 26 年度 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

●講演会

大人たちが目を背けてはいけないこと HIV 感染の背景要因としての虐待

内容

「HIV 感染と性被害の関連」日高庸晴（宝塚大学看護学部）、
「わが国における子どもの虐待と支援の現状」畠山由佳子
（神戸女子短期大学）、鄭暎恵（大妻女子大学）、「コミュニティ支
援から見てきた子どもたちの性被害」星野慎二（特定非
営利活動法人 SHIP）、「当事者の立場から」濱中洋平（RC-NET
LGBT ユースアドボケート）、「少年事件・虐待事件と性被害」
山下敏雅（弁護士）。

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス第4校舎B棟 J14 教室
（神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1）

問い合わせ・申込み先等

参加費等／無料・事前申込み（当日参加も可）、事前申し込みは、作
名に「講演申し込み」本文に①名前②所属③電話番号を明記のうえ
E-mail で、hidaka-office@takara-univ.ac.jp まで。
問い合わせ先／宝塚大学看護学部日高研究室 TEL 06-6376-0858
共催／特定非営利活動法人 SHIP、セクシュアルマイノリティ研究会
後援／神奈川県、横浜市健康福祉局、横浜市教育委員会

▶▶ 12月6日(土)～7日(日) ◀◀

クィア学会 第7回研究大会

◆大会シンポジウム◆

家族をめぐるポリティクス —「個」から問い直す制度

内容 6日(土) 9:30～11:30 映画上映

「R／EVOLVE—結婚と平等とピンクマネー」(別途費用必要)

13:20～15:20 個人報告(1)(2)

15:40～18:10 大会シンポジウム

『家族をめぐるポリティクス—「個」から問い直す制度』

7日(日) 9:30～12:00 個人報告(3)(4)

12:20～13:50 幹事会主催ワークショップ

「クィア学会のあり方を考える」

14:10～16:10 個人報告(5)(パネル)

会場 中京大学 名古屋キャンパス5号館
（名古屋市中区八事本町 101-2）

問い合わせ等 参加費／会員 1,000 円 非会員 1,500 円

問い合わせ先／クィア学会事務局（関西大学社会学部守如子研究室気付）

E-mail jaqs.info@gmail.com http://www.queerjp.org/

1/17(土)

13:00～17:00

第107回

「性を語る会」シンポジウム

男の子の性教育

～思春期のからだところ～

学校で、家庭で、パパがママが、どう教えるか？

初めての射精、夢精に、教えられていない男の子はびっくり！「ネバネバして気持ちわるーい！」「病気か？」「くさーい」「パンツがよごれて、ママに叱られる」と、小学校4～6年生は悩んでいます。女の子には初経教育をするのに、男の子には性教育は必要ない？自然に覚えるからだいじょうぶ！？みんなで体験談、失敗談、男の子にパパが、ママが、どう教えるか？の討論会。

会場 アーニホール

（東京都世田谷区用賀 3-5-6）

【問い合わせ先等】

参加費／一般 1,500 円 会員 1,000 円 小学生～高校生 500 円

主催・問合せ先／「性を語る会」事務局（担当：平）

TEL 03-3708-7326 FAX 03-3708-7324

E-mail taira@ahni.co.jp

▶▶ **12月23日** (火・祝日) 13:15 ~ 16:30 ◀◀

関西性教育研修セミナー2014 冬

現場からの発信！ 知的障がい児(者)への性教育実践の工夫あれこれ

「今の学校では、性教育がやりにくい」「なんとかやっているけれど、ほかの人はどうしているの?」。子どもや青年をとりまく性の問題が深刻化する現代だからこそ、子どもたちの今を支える支援と将来の成長や健康につながる教育が求められています。

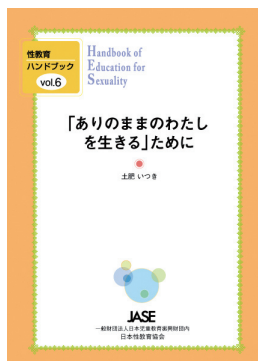
昨今の性教育の〈やりにくさ〉を跳ね飛ばすような、パワフルな現場発信の性教育実践についてお届けします。若手の教員や実践家による工夫や苦労を、一緒に分かち合いましょう！

講師 船木 雄太郎氏 (大阪府立泉北高等支援学校、養護教諭)
『せい』からひろがる、新しい自分をみつける～性に関する指導実践～
武子 愛氏 (淑徳大学大学院／人間総合科学大学非常勤講師)
性のモラルを守るための性教育実践～軽度知的障害女性を対象に～
※研修とワークショップ 120 分、参加者とのディスカッション 45 分

会場 大阪府立大学「I-site なんば」C 1 室 (南海なんば第 1 ビル 2F)
大阪市浪速区敷津東 2-1-41 TEL 06-7656-0441 (代表) ※会場の問い合わせのみ

参加費・申込み先等

参加費：一般 1,000 円、学生無料 主催：関西性教育研修セミナー運営委員会 協賛：日本性教育協会
申込み先：E-mail higashi@sw.osakafu-u.ac.jp FAX 072-254-9793 (お名前・所属・連絡先を明記してお申込下さい)



性教育ハンドブック Vol.6

12月20日頃発行

『「ありのままのわたしを生きる」ために』

土肥いつき 著

◆A 5 判：82 頁、頒価 500 円

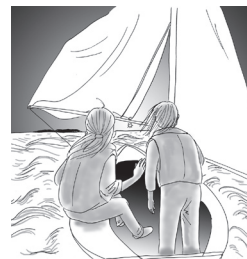
『現代性教育研究ジャーナル』に 3 年間連載された、「性別違和」である作者が悩みや葛藤の中で紡いだきたありのままを語る自叙伝です。両親や友達との出会いの中で小さなトゲのような違和感を心の小さな箱の中にしまい込み、教員生活を送り、J さんと出会い、そして SRS に向かい、女性としてありのままに生きるわたしの航海を描いた新刊です。

主な内容

港にて (自分史の試み…) / 船出のとき (小さなトゲのような思い…) / 帆をあげる (教員生活のはじまり…) / 舵を切る (「身体改造」開始…) / 嵐の中で / かすかに見えた航路 / 新たな旅へ

著者プロフィール

1985 年より京都府立高校教員。セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク副代表、トランスジェンダー生徒交流会世話人、まんまるの会 (関西医科大学附属病院ジェンダークリニック受診者の会) 世話人代表など。映画『coming out story』に出演。



既刊〈性教育ハンドブック〉

☆性教育ハンドブック Vol.5 『21 世紀の課題=今こそ、エイズを考える』池上千寿子著 A5 判・68 頁 500 円

☆性教育ハンドブック Vol.4 『性教育の歴史を尋ねる～戦前編～』茂木輝順著 A5 判・92 頁 500 円

※送料：1 冊 215 円、2～3 冊 300 円、4 冊～6 冊 350 円。

◆JASE ホームページ <http://www.jase.faje.or.jp/pub/pub.html> からお申し込みいただけます。

または、Email info_jase@faje.or.jp

TEL 03-6801-9307 FAX 03-5800-0478